

# 賛助会員の紹介

## 木下建工株式会社

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社の創業は、1949年に関東地方を襲ったキティ台風により、長野県南佐久地方が大きな被害を受けたことに始まります。長野県からの要請に応じ、飯田市の木下建設から出張し復旧工事にあたり、その後南佐久で独立しました。こうした成り立ちと、長野県という急峻な地形、四季の厳しい環境条件で歴史を重ね、土木、建築、設備の施工会社として直営施工力を磨きました。

近年、気候変動により局地的な豪雨の増加、強大な台風などの異常気象が自然災害をもたらしていることを災害対応の最前線で実感した弊社は、20世紀の終わりに「循環型社会の実現」をビジョンと定め、社会に先駆けて「作るだけでなく長持ちさせる技術」に取組み、事業構造を転換して構造物・建築物の長寿命化を手がけてきました。

弊社が大切にしているのは技術と技能の高さ。構造物・建築物の長寿命化は現地状況に応じた高い施工力が求められます。弊社では技術者だけでなく、技能スタッフ（職人）も育成しています。この内製化により調査・設計から施工まで社内で一貫して対応可能です。また、弊社はどのメーカー系列にも属さない独立企業で、多様な特許使用権を保持し、お客様にもっとも有効な工法や材料を提案できるよう心がけています。

日本でも、既存のインフラをいかに長く使い続けるかが社会の命題となりつつあります。橋梁の耐震補強や落橋防止、トンネルの補強工事、各種施設の耐震補強やリノベーションなど、構造物・建築物の長寿命化を図る弊社の需要は一步一步拡大しています。そのため、お引き合いやメディア等の露出も増えましたが、これにおごることなく今後も循環型社会の実現のため、多数の技術者と直営技能スタッフが研究開発、技術伝承、施工力の研鑽に取り組んでいきます。

最後となりましたが、貴会の皆様の益々のご繁栄ご健勝を心よりご祈念申し上げます。